

令和6年度ふるさと納税寄附金活用事業について

皆様からの温かいご支援により、令和6年度の函館市ふるさと納税寄附金は、
合計で10万4,180件、22億2,226万0,040円となりました。
お寄せいただいた寄附金は、それぞれお申込時にご指定いただきました使い道のとおり、
次の項目ごとに大切に活用させていただきました。

函館市全体のために

11億9,675万6,500円

函館市の魅力を更に高め、活力にあふれ、豊かで、未来に夢と希望を持てるまちづくりを目指し、令和6年度の函館市の各種事業に大切に活用させていただきました。

子どもたちの未来のために

4億6,595万8,600円

学力向上対策など質の高い教育環境の提供のために活用しました。

- ・学力向上非常勤講師配置事業費
- ・学級運営改善非常勤講師配置事業費
- ・外国語指導助手関係経費
- ・特別支援教育支援員関係経費
- ・アフタースクール運営交付金
- ・いじめ・不登校等対策推進費
- ・学校ネットパトロール事業費
- ・学校ICTサポートセンター関係経費
- ・ICT機器等運用経費（小・中・高）
- ・小学校入学祝金給付事業費
- ・郷土学習推進費
- ・外部講師等関係経費
- ・施設型給付費

PICK UP!

■ 学校ICTサポートセンター関係経費 ■ ICT機器等運用経費（小・中・高）

児童生徒および教員のICTスキルを向上させ、ICTの活用が図られるよう、学校ICTサポートセンターのサポーターが各学校へ定期的に訪問し、児童生徒のサポートのほか、教員に対する授業計画や教材作成等の支援を継続的に行いました。

サポーターの取り組みにより、各学校におけるICTの活用が推進されました。



また、児童生徒が学習用端末を安全に利用するためのセキュリティの強化や、児童生徒の成績や個人情報を扱う校務用端末の整備など、教育DXの実現に向けて、校内LANの保守委託を継続し、ICTの運用に係る適切な環境整備に努めました。さらに、コンピュータ援助による語学教育を行うシステムとしてコール教室を整備し、生徒個々の理解に応じたきめ細かい指導により、学習効果の充実を図りました。

子どもたちの情報活用能力の育成や、ICTを効果的に活用した授業を実施することで、学習効果の向上と教育DXの推進を図ることができました。

■ 小学校入学祝金給付事業費

子育て支援施策のひとつとして、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、市を挙げて小学校入学をお祝いするため、令和6年度より入学祝金の支給を実施しています。

基準日時点で函館市に住民登録があり、対象児童を養育する保護者を対象に、児童一人あたり10万円を支給しており、令和6年度は1,343世帯、1,360人に対して支給しました。

美しい景観を守るために

2億1,209万0,200円

歴史的建造物の保全や街並みを美しく保ち、観光都市函館の魅力を将来に引き継ぐために活用しました。

- ・観光施設維持管理費
- ・緑樹帯等管理業務委託料
- ・函館駅前・西部地区花いっぱい業務委託
- ・歴史的建造物保全調査事業費

PICK UP!

■ 緑樹帯等管理業務委託料

市民や観光客が目にする機会の多い公園や緑地等を適切に管理し、地域の緑の保全・創出に繋げるため、草刈や清掃等の実施や市民記念植樹・植樹祭の実施、沿道花いっぱい運動を実施しました。

魅力あふれる都市景観の確保や市民の緑化意識の向上、地域コミュニティの活性化に繋げることができました。



活気と賑わいのあるまちのために

8,737万5,800円

様々なイベントの開催や交流人口の拡大、「食の産業化」の推進のために活用しました。

- ・はこだて食ポータルサイト関係経費
- ・未来のIT人材育成推進費
- ・食の魅力発信事業費
- ・企業立地促進条例補助金
- ・函館スイーツブランド化等推進事業費

PICK UP!

■ 企業立地促進条例補助金

地元企業や進出企業が市内に工場等の新設・増設を検討する際に、設備投資や賃借料の負担が大きく、安定的な雇用機会の創出が難しいといった課題や、若者の働く場がないといった課題があり、地域の安定的な雇用機会の創出と産業集積の活性化を図るため、函館市内に工場やIT企業オフィス等を新設・増設する際に、設備投資や賃借料等に対する費用の一部を補助したり、雇用増に応じた補助金を交付しています。

令和6年度には、12社（製造業2社、非製造業10社）が企業立地促進条例補助金を利用し、雇用増が80人となり、地域の活性化に繋げることができました。



〈ワイナリー〉

福祉の充実のために

7,095万3,800円

高齢者の交流や生涯学習の場の提供、障がい者福祉の向上、介護人材の確保等の取り組みのために活用しました。

- ・重度身体障害者等タクシー料金助成費
- ・生涯学習推進費
- ・介護職員資格取得支援事業費
- （高齢者対象大学関係経費など）
- ・介護人材確保・育成促進事業費
- ・ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置費
- ・介護人材等地域定着奨励金

PICK UP!

介護人材等地域定着奨励金

人口減少と少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少と、介護保険制度における要介護（要支援）認定者数の増加で、介護職の確保がより一層の課題となることが見込まれることから、函館市内の介護事業所または障害福祉サービス事務所等で初めて正規雇用かつ常勤の介護職員として就労した者等に対し、新規就労奨励金（介護福祉士資格あり20万円ほか）を支給、新規就労奨励金等を受給された方等で支給時と同様の業務内容および雇用形態で就労している方等に対し、1年経過ごとに継続就労奨励金を支給しています。

令和6年度は68名に支給し、人材の確保に繋げることができました。



大間原子力発電所の建設凍結のために

4,339万2,000円

市民の生命や財産を守り、函館市を将来の世代に引き継いでいくため、現在係争中の大間原発の建設差し止め訴訟費用として、基金に積み立てました。

※ 訴訟の審理状況など詳細につきましては、大間原発の建設凍結のための提訴について（総務部災害対策課）のページをご確認ください。
⇒ <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014031000166/>



その他個人からの寄附

1億4,573万3,140円

それぞれご指定いただいた用途のとおり大切に活用させていただきます。